

実践事例発表レジュメ

研修・研究事業名	地域教育力を高めるボランティアセミナー
実践事例名(テーマ)	学校支援地域本部事業における事例
事業主体(実施機関)	特定非営利活動法人学校支援のべおかはげまし隊
連携・協力機関等	延岡市教育委員会社会教育課・市内企業・企業OB会等
発表者	桑 畑 拓

期日 平成27年3月6日

内 容

- 1 はげまし隊のこれまで
 - 平成20～22年度学校支援地域本部事業を実施した。(岡富中学校)
 - 平成21年10月はげまし隊を導入した。(地域本部事業の一つとして)
 - 平成24年10月NPO法人設立し、事務局を開設した。(社会教育課が手続き)
 - 平成25年度8校体制となった。(市内生徒の90%が支援を受ける)
- 2 社会教育課の役割
 - 「NPO法人学校支援のべおかはげまし隊」に隊員の確保と派遣を委託する。
 - コーディネーターを社会教育課が雇用し、学校に配置する。
 - 学校へ事務経費を支給する。
 - NPO法人へ委託金を交付する。
- 3 NPO法人の役割
 - 隊員を確保し、各学校に派遣する。
 - 民間から会費を集め、隊員への経費支給を行う。
 - 社会教育課の指導の下研修会を開催する。
 - 活動の状況を広報し、市民の理解を深める。
- 4 学校の役割
 - 隊員の派遣を受け、授業において活動の場を設ける。
 - 授業計画を隊員に配布し、支援を依頼する。
 - 必要な教材、物品を用意し、隊員へ配布する。
- 5 成果
 - 生徒の生活態度に落ち着きが見られ、学力が向上した。
 - 個別指導などの教師の負担が軽減された。
 - 隊員が役立ち感を感じ、生き甲斐の発見につながった。
 - 地域社会との連携が進み、学校教育への理解が深まってきている。
- 4 課題
 - 隊員の高齢化に伴い、新たな隊員の確保が必要である。
 - 成果の集約と公表が難しい。
 - 地域社会への広報と理解を深めることが難しい。